

へ 経過

(1) 労働者側

別記の如キビラヲ頒布セリ

(2) 事業主側

特異ノ行動ナシ

(3) 交渉状況

A. 八日争議団本部ニ於テ労資会見折衝ノ結果賃金其他ニ就
テハ恒達成リシトモ争議費用ノ問題ニ付妥恒成ラズシテ袂
別セリ

B. 九日更ニ工場エテ労資会見シ折衝ノ結果争議費用六十円
支給、争議中ノ日給ハ支給セサルコトニ恒達成立シ工場
主ヨリ別記の契約書ヲ、労働者ヨリハ別記の誓約書ヲ何
シモ差入シ解決シタリ

右及申(通)報候也



奇は藤電球ストライキと

勝たせろ

去る四月廿五日一部の者カヒルメレキヨリ大ゆこうとした所カ「おい! 誰カ今
かうメレと食む」行けと云った、ナクウキだ、とのおやぢ斎藤金太郎カヌカした
ことをさつ、ウヤに並ねてウヤ不満足、ウヤハッし聖世、昨日より一部の者はストライ
キに入り次の基な要求カ、ウヤ、ウヤの十日余り戦ひついでぬる

賃金低下絶対反対、即此位上しろ、工場設備をよくしろ、食料をよくしろ、
おやぢ金銀もちの健康保険を完済しろ、

工場法とへも適用しないで時間、制限なく度々、賃金低下させ、つてびたすらおれ
時としおるおやぢ斎藤金とす、おやぢ斎藤をヤッケロ、と皆月よ歩、勢よく
戦つてぬる、これは斎藤工場長等のみの問題では無い、今高川地区労働者は之
と自分自身の問題として勝たせよう、
吾々の工場有志は右の如うに考へ諸君も亦思つて斎藤工場ストライキをのほか
斎藤の圧迫なもに、つて相俟したいと思ふ

並ちに工場有志会やとひらけり

昭和五年五月八日

〇〇メメ工場有志